

平成30年度  
北海道高等学校長協会家庭部会  
調査研究委員会  
調査・研究報告書

実践事例・指導資料集

平成31年3月  
北海道高等学校長協会家庭部会

## ◆◆ 目 次 ◆◆

### 各実践事例の構成

- ① 単元の指導・評価計画、
- ② 本時の指導案
- ③ 評価に係る実践的資料等参考資料、ワークシート等

#### <実践事例1> 砂川高校の取組

「家庭基礎」における保育所訪問など学校外での体験学習等を取り入れた実践例 1～ 6

#### <実践事例2> 厚真高校の取組

「家庭総合」「フードデザイン」等における地域資源等を活用し学校家庭クラブ活動へと発展させた実践例 7～10

#### <実践事例3> 砂川高校の取組

消費者庁作成の教材「社会への扉」を活用した家庭科と公民科の連携による教科横断的な実践例 11～15

<実践事例1> 砂川高校の取組

平成29年度実施したアンケート調査の結果を踏まえた保育所訪問などの実践例

(1) 単元の指導計画

【指導と評価の計画の例】(全10時間)

- |            |          |
|------------|----------|
| ①子どもの発達と生活 | 4時間(第1次) |
| ②子どもの遊び    | 1時間(第2次) |
| ③保育所実習     | 3時間(第3次) |
| ④児童文化財の作成  | 2時間(第4次) |

	ねらい、◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
第1次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の発達段階について理解させるとともに、基本的な生活習慣の形成、食事や衣服、健康管理と安全の概要を理解させる。また、親の役割と子育て支援について理解させ、子どもを産み育てる意義について考察させる。</li> </ul> <p>◆乳幼児期の発達について理解を深める。</p> <p>◆子どもの生活について、基本的な生活習慣、食事や衣服、健康管理と安全などの概要を理解する。</p> <p>◆児童虐待などを取り上げ、社会全体で乳幼児及び親を支えていくことの重要性について考える。</p> <p>◆「児童憲章」をはじめとする子どもに関する法律について理解し、少子高齢化社会において子育てを支援することの重要性を理解する。</p>	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・親の役割や子どもを産み育てることの意義について、考えている。</li> <li>◇ワークシート、発言、定期考査</li> <li>・子どもの生活の概要及び乳幼児期が人間の発達段階において重要な時期であることを理解している。</li> <li>◇ワークシート、定期考査</li> <li>・子どもを取り巻く環境整備と社会での子育て支援の重要性について理解している。</li> <li>◇ワークシート</li> </ul>
第2次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通じて心身の発達や健康の保持増進がなされることを理解させ、遊びの意義や児童文化の子どもへの影響について考えさせる。</li> </ul> <p>◆乳幼児の心身の発達段階について知識を深め、発達段階に見合った児童文化財と、子どもへの影響について考える。</p>	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの意義や児童文化の子どもへの影響について、考えている。</li> <li>◇ワークシート、定期考査</li> <li>・子どもの発達と遊びや環境との関わりについて理解している。</li> <li>◇ワークシート</li> </ul>
第3次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団保育について理解させ、乳幼児に実際に触れたり、保育者の姿を観察する機会を持つことで、保育への関心を持たせる。</li> </ul> <p>◆保育所と幼稚園の違いについて理解する。</p> <p>◆保育所実習に伴う事前指導を実施し、子どもおよび保育に関心を持つ。</p> <p>◆乳幼児と実際に関わることで保育への関心を持つ。</p> <p>◆子どもへの適切な関わり方について理解を深める。</p> <p>◆学習内容を生かして適切に子どもに触れ合う。</p>	●	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的活動を通じて、保育に関心を持ち、学習に取り組んでいる。</li> <li>◇ワークシート(保育所実習について)、保育所実習日誌</li> <li>・実習において子どもと触れ合ったり、観察したりしている。</li> <li>◇保育所実習日誌、行動観察</li> <li>・子どもは生活の中で人との関わりを通して育つことを理解している。</li> <li>◇保育所実習日誌、ワークシート(保育所実習について)、保育所実習リフレクションシート</li> </ul>
第4次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所実習で見学した子どもの様子や興味関心をもとに、担当した月齢の保育所児に合わせた児童文化財をグループで考えながら作成する。</li> </ul> <p>◆子どもにとっての遊びの意義や児童文化財の子どもへの影響について、実習での子どもの様子や実態などを思い出しながら、考えをまとめる。</p> <p>◆学習した内容を元に、子どもの月齢や発達段階に合わせた児童文化財を考え、工夫した作品を製作する。</p>	●	●			<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの意義や児童文化の子どもへの影響について考え、まとめたり発表したりしている。</li> <li>◇ワークシート、発表</li> <li>・発達段階に合った、安全で適切な児童文化財を制作している。</li> <li>◇作品、作品提出票</li> </ul>

(2) 本時の指導案

【学習指導案 保育所実習事前指導】

本時の主題	有意義な保育所実習になるよう、今まで学習した内容を基に、保育所実習を通じて適切に子どもたちと触れ合うための留意点について確認しよう。(2時間目/全4時間)			
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所児と交流する前に、どのようなことに注意すべきか、適切な子どもとの関わり方についてまとめる。</li> <li>・実習における自分の目標を決め、何について特に留意して観察したいか、考えをまとめる。</li> </ul>			
過程	指導内容	学習活動	評価規準/評価方法	指導上の留意点
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容の確認</li> <li>・保育所実習注意事項</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施要項と実習日誌を配布する。</li> <li>・実習当日の時刻について確認する。</li> <li>・当日持参すべきものを確認する。</li> <li>・子どもと触れあう際にどのようなことに留意して接すべきかを確認する。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育に関心を持ち、実習に取り組んでいる。</li> </ul> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークシート(保育所実習について)、行動観察</li> </ul> <p><b>【知識・理解】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの適切な関わり方について理解している。</li> </ul> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークシート(保育所実習について)、行動観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当日自分が実習すべきことを確認させる。</li> <li>・忘れ物がないよう、必要な事柄を実習日誌に記入させる。</li> <li>・各事項について、なぜ留意すべきであるか理解させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習前個人目標の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習中の個人目標を設定する。</li> <li>・子どもが興味、関心を持つ事柄をインターネットを使い、調査する。</li> </ul>	<p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関心を持ち、実習に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークシート(保育所実習について)、行動観察</li> </ul> <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが興味、関心を持つ情報を収集している。</li> </ul> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークシート(保育所実習について)、行動観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的意識を持って実習に取り組むよう目標を設定させる。</li> <li>・実習当日に、今回調査したことについてどのような傾向が見られたか確認して伝える。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人目標の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習で担当する子どもの月齢グループ毎に、各自設定した目標と調査項目について発表する。</li> </ul>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を元に、子どもの興味関心について考えをまとめ発表している。</li> </ul> <p>〈評価方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ワークシート(保育所実習について)、発言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと関わる以外に何を見て学んでくるか、発表を通じて再確認させる。</li> </ul>
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習に必要な事柄の再確認</li> </ul>	



# 保育所実習について

## ○日 時○

○○月○○日（□）△校時 ☆：◎◎～☆：◎◎

○○月○○日（□）△校時 ☆：◎◎～☆：◎◎

授業が始まる前に荷物と外靴を持って移動し、○○○○○室に集合する。

## ○約束すること○ ※掲載してあることは一例とする。各保育所毎に異なることがある。

- ・到着したら、保育所玄関前に集合。
- ・保育所内では、おしゃべりはせずに静かに入ること。
- ・外靴はビニール袋に入れて指定の場所に置く。
- ・カーテンがされてあるので、一度にさっと入ること。
- ・子どもをおぶったり、だっこしたりはしないこと。
- ・周りをよく見て、手や髪の毛等で子どもを傷つけないようにすること。
- ・名前を呼び捨てにしないこと。
- ・わからないことや困ったことは、担当の先生に聞くこと。
- ・休み時間のうちにジャージに着替えておくこと。名札は縫う。爪を切る。

## ○実習内容○ ※午後から行った場合とする

～（ ）：（ ）	保育所担当の先生から注意事項 担当クラスの確認
（ ）：（ ）～（ ）：（ ）	お昼寝後の後片付けのお手伝い
（ ）：（ ）～（ ）：（ ）	おやつの準備・間食
（ ）：（ ）～（ ）：（ ）	各クラスでの遊び
（ ）：（ ）～（ ）：（ ）	お礼の言葉

## ○課 題○

・

・

## ○帰ってきてからまとめる内容について○ ※実習の時間や内容により異なる

- ・園児の様子について
- ・保育士さんの園児へ接する様子について（怒り方・ほめ方など）
- ・子ども同士の人間関係について

## ○実習に行く前の個人目標（何を中心に見てきたいか）○

### ※子どもの好きなものの予想※

キ ャ ラ ク タ ー		食 べ 物		そ の 他	
----------------------------	--	-------------	--	-------------	--

# 保育所実習日誌

※しっかりと記入し、ひとりずつの反省に生かしましょう。

保育所に行く前の心境		保育所に行った後の心境	
担当クラス 月齢			
クラスに入ってから帰るまでにやったこと	時間帯	行った内容	
子どもの好きなものの分析	男の子		女の子
実習に行く前にやっておけばよかったと思うことは？			
子どもたちとまた交流するなら何ができそう？			
もう一度行くなら今度は何を見てきたい？			
保育所の先生を見て感じたこと。			
実習全体の反省			

名前 ( )

## 保育所実習リフレクションシート

今日の 学習を 始める 前		➔	今日の 振り返り 学習 後	
保育所実習前の 心境			保育所実習後の 心境	
<p>★保育所実習に行く前と行った後で、自分の考えを比較してみましょう☆                  (1)子どもとの関わりに対する考え方はどのように変化しましたか？また変化したことについて、どのように感じていますか？</p>				
<p>(2) 実習で学んだことを、これからの日常生活のどのような場面で生かしますか？次から一つ選び、考えを記入してください。(1つ選択して○をつける)</p> <p style="text-align: center;">家庭科以外の授業 ・ 課外活動 ・ 家庭生活 ・ 社会人になった時</p> <p>あなたの考え -----</p>				
<p>(3) 次の項目について、当てはまるものを一つ選びましょう。</p> <p>① 高校生として子どもと交流することの意義について</p> <p style="text-align: center;">よく理解できた ・ 理解できた ・ あまり理解できなかった ・ 理解できなかった</p> <p>② 子どもと触れ合い、観察することが</p> <p style="text-align: center;">よくできた ・ できた ・ あまりできなかった ・ できなかった</p> <p>③ 働く保育士の姿を見て、児童福祉や保育に関する仕事に興味・関心を持つことが</p> <p style="text-align: center;">よくできた ・ できた ・ あまりできなかった ・ できなかった</p> <p>④ 子どもは生活の中で人との関わりを通して育つということが</p> <p style="text-align: center;">よく理解できた ・ 理解できた ・ あまり理解できなかった ・ 理解できなかった</p>				
実習全体の反省				

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

## <実践事例2>厚真高校の取組

### 「フードデザイン」における地域資源等を活用した実践例 ～ 学校家庭クラブ活動に発展させた取組

#### (1) 単元の指導計画

【指導と評価の計画の例】(28時間)

- |                        |      |       |
|------------------------|------|-------|
| ①地域の食材について知ろう          | 2時間  | (第1次) |
| ②食生活の課題を探ろう            | 2時間  | (第2次) |
| ③地域食材(ハスカップ)について調べよう   | 12時間 | (第3次) |
| ④地域食材(ハスカップ)で食育推進活動しよう | 12時間 | (第4次) |

	ねらい、◆学習活動	評価の観点				評価規準・評価方法
		関	思	技	知	
第1次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の食材について特徴を理解するとともに、自分や家族、地域と食材のかかわりについて考察させる。</li> </ul> <p>◆町広報誌から、地域の食材を調べる。 ◆実態を把握できるようなアンケートを作成する。 ◆校内でアンケートを実施する。</p>			●	●	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の食材やその特徴について理解している。</li> </ul> ◇観察・レポート
第2次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活における課題を把握し、改善策を考察させる。</li> </ul> <p>◆地域の食材、特産品について知り、自分の食生活との関連性を振り返る。 ◆アンケート結果から、自分や家族の食生活の課題を把握する。</p>		●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の食材、特産品について理解し、地域の食文化や自分の食生活との関連性について把握している。</li> <li>・食生活における課題を把握し、改善策について考え、実践しようとしている。</li> </ul> ◇観察・レポート
第3次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・研究から、地域食材(ハスカップ)について、理解を深める。</li> <li>・調査・研究のまとめを展示・発表させ、効果的な展示や発表方法について考察させる。</li> </ul> <p>◆インターネットや書籍等からハスカップについて各自が調査したことをミニポスターにまとめて発表しあい、情報を共有し、まとめる。 ◆代表生徒によるハスカップ農家インタビューや農園訪問の報告を聞き、ハスカップへの理解を深める。 ◆学校祭用の展示計画をたて、展示品を作成する。 ◆ハスカップの果実観察や試食、ハスカップジャムの調理からハスカップの特性を理解する。</p>	●	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査したことをわかりやすくまとめ、互いの発表からハスカップへの理解や関心を深めている。</li> <li>◇観察、ミニポスター</li> <li>・消費者としてでなく、生産者の立場や産業としての食材についての理解を深め、どのように生活に取り入れていくかを考えている。</li> <li>◇観察、レポート</li> <li>・高校生や地域住民が関心をもてるような、わかりやすい展示品を作成し、展示している。</li> <li>◇観察、展示品</li> <li>・基本的な調理技術を習得し、ハスカップの調理上の特性を理解している。</li> <li>・ハスカップの効果的な活用方法を考えている。</li> <li>◇観察、レポート</li> </ul>
第4次	<p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域食材(ハスカップ)を普及活動や、地域の食育推進活動に取り組みせ、問題解決能力や実践的な態度を養う。</li> </ul> <p>◆ハスカップパンフレットを作成し、効果的な普及の方法について考察する。 ◆子どものためのハスカップ絵本を作成し、地域の文化を次世代につなぐ方法を考察する。 ◆ハスカップの苗を植え、世話や観察をする。 ◆地域文化祭での普及活動を計画、実践する。 ◆ハスカップを用いた料理を研究し、普及する。</p>	●	●	●		<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた普及活動や食育活動を計画、実践することで、問題解決能力や地域住民としての実践的な態度を身に付けている。</li> <li>◇観察、制作物</li> <li>・ハスカップの良さを活かした料理を考え、調理法の要点をふまえて、調理している。</li> <li>◇観察、レポート</li> </ul>



スクールプロジェクト「ハスカップで元気になろう」 氏名： \_\_\_\_\_

- 本時の目標：①発表をきいて、ハスカップ（栄養面／収穫方法／特産品／消費方法）について詳しく知ろう  
 ②相手に伝わるように発表しよう  
 ③発表をきいて、普及方法や新たな課題を発見しよう

■発表・報告のまとめ

	わかったこと	疑問・知りたいこと	家族や町の人に知らせたいこと	発表の仕方 (気付いたこと)	その他
1 班					
2 班					
3 班					
4 班					
5 班					

■発表・報告のまとめ

	わかったこと	疑問・知りたいこと	家族や町の人に知らせたいこと	発表の仕方 (気付いたこと)	その他
収穫体験					
農家さん					
家族から					



### <実践事例3>砂川高校の取組

#### 消費者庁作成の教材「社会への扉」を活用した家庭科と公民科の連携による教科横断的な実践例

##### (1) 単元の指導計画

【指導と評価の計画の例】（7時間）

- |                |          |
|----------------|----------|
| ①家計と消費経済とのかかわり | 1時間（第1次） |
| ②生活における経済の管理   | 2時間（第2次） |
| ③消費行動と意思決定     | 2時間（第3次） |
| ④消費者の権利と責任     | 2時間（第4次） |

	ねらい、◆学習活動	評価の観点				評価規準、評価方法
		関	思	技	知	
第1次	<p>【ねらい】 ・今日の消費者問題について把握させ、自分たちの生活と社会とのかかわりについて理解させる。</p> <p>◆ワークシートを参考とし、様々な職業の生涯賃金を理解した上で、働き方や家計の特徴について理解を深める。</p> <p>◆家庭における消費生活の課題の解決方法を理解し、実社会において課題に直面した時に自立した消費者として行動するための方法を身に付ける。</p>			●●		<p>・生涯賃金や働き方、年金、保険を含めた家計の特徴について理解している。 ◇定期考査、ワークシート</p> <p>・家庭の消費生活の諸課題について具体的な事例を収集し、整理することができる。 ◇ワークシート</p>
第2次	<p>【ねらい】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について認識させ、キャッシュレス社会が家計に与える影響や問題点を理解させる。</p> <p>◆人生で必要となる金銭とその種類について、人生すぐくを利用し具体的な数値として理解し、自らの人生設計における必要な金額について考える。</p> <p>◆クレジットカードや電子マネー等について理解を深める。</p>	●			●	<p>・人生における必要最低限な資金と、不測の事態に備えたリスク管理の方法について理解している。 ◇ワークシート</p> <p>・キャッシュレス社会が家計に与える影響や問題点を理解している。 ◇定期考査、ワークシート</p>
第3次	<p>【ねらい】 ・社会の変化に伴う消費生活の変化と現状について関心を持ち、生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を行っていくことが必要か考察させる。</p> <p>◆消費行動における意思決定の過程について、具体的に考える。</p> <p>◆通信販売のカタログやインターネットを参考とし、テーマに基づいて商品を購入する場合、消費者としての正しい判断に基づいた購入方法を調べる。</p>	●●				<p>・財・サービスに関する正確な情報を入手するために、生活情報の特徴や課題について考え、理解している。 ◇ワークシート、</p> <p>・消費者として批判的思考に基づいて適切に判断し、正しい目を持って生活に必要なものを購入できる判断力が身に付いている。 ◇ワークシート</p>
第4次	<p>【ねらい】 ・経済社会の変化に伴う消費生活の変化を背景に、消費者問題が発生していることを理解させ、被害の防止や救済および契約について情報を収集し、その対処方法について考察させる。</p> <p>◆「社会への扉」を活用し、契約に関するワークシートをまとめた後、トラブルへの対処方法をグループワークで話し合った後、ロールプレイで発表する。</p> <p>◆様々な消費者問題とその対処方法について、ペアワークで調査し、グループ内で発表する。</p>	●●				<p>・トラブル回避や被害防止、救済方法について考察することができる。 ◇行動観察、発言、発表、ワークシート</p> <p>・消費者トラブルの対処方法、と消費者の権利と責任について理解している。 ◇行動観察、ワークシート</p>

<参考資料>

消費者庁「社会への扉」P1～6

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_education/public\\_awareness/teaching\\_material/material\\_010/pdf/teaching\\_material\\_1\\_171221\\_0001.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/teaching_material/material_010/pdf/teaching_material_1_171221_0001.pdf)



# 消費者問題

## ワークシート

年 組 番

※以下網掛け部分については、授業ではカットして配布する。

### <家庭科>

#### ◇なぜ、今、「消費者問題」を考えるのか？

「選挙権年齢」がすでに[ ]才まで引き下げられ、国会では成人年齢そのものもそれに合わせようという動きが本格化している。

ということは、これが実現されれば、高校3年生の1月に晴れ着を着て「成人式」に出席？

(ただし、飲酒・喫煙やギャンブルは従来どおり[ ]才以上でなければダメ)

そんな「成人」を目前にひかえる高校生にとって「消費者問題」はとても身近で、真剣に考えなければならぬもの！ まず、消費生活の土台にある「契約」のイロハについて知ろう！

### <家庭科>

#### ◇契約ってなに？ Q&A

1 次のさまざまな事例のうち、「契約」によって成り立つものには○、「契約」とは関係のないものには×を記入しよう！

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ア 自転車保険に加入する [ ] | イ CDをレンタルする [ ] |
| ウ アパートを借りる [ ]   | エ 会社に就職する [ ]   |
| オ 病院で診察を受ける [ ]  | カ プレゼントをもらう [ ] |
| キ コンサートに行く [ ]   | ク 電話をかける [ ]    |
| ケ 結婚する [ ]       | コ 中学校に通う [ ]    |

⇒私たちの日常生活のいたる場面に「契約」が存在している！！

### <公民科>

2 お店で洋服を買う場合、「契約」が成立するのはいつ？

- ① 店員が「はい、かしこまりました」と言ったとき
- ② 代金を支払ったとき
- ③ 商品を受け取ったとき [ ]

### <公民科>

3 姉が以前ほしいと言っていたネックレスを買ってプレゼントしようとしたが、渡せなくなりました。返品と代金の払い戻しはできる？

- ① 原則できない
- ② レシートがあり1週間以内ならできる
- ③ 商品を開封していなければ [ ]

### <公民科>

4 「契約」について( )に適する語句を語群から選んで記入してみよう！

契約は(1 )だけでも成立します。  
契約とは、法的な(2 )が生じる約束なので、(3 )力があります。  
したがって、契約を守らない場合は、(4 )で訴えられる場合もあります。  
ちなみに、「契約書」を作成してサインしたり、印鑑を押したりするのは、あくまでもあとで争いごとになった時の証拠とするためです。

[語 群] 裁判 責任 自由 拘束 国会 口約束

＜公民科＞

5 未成年者は一度結んだ「契約」でも取り消すことができます。ただし、次の場合は取り消すことができません。それは… (どちらかを○で囲みましょう)

- (1) おこづかいの範囲内での[ 少額 ・ 多額 ]の契約の場合
- (2) すでに[ 離婚 ・ 結婚 ]をしている場合
- (3) 自分が成人である、または法定代理人(=保護者)の同意があると、積極的に[ スキ ・ ウソ ]をついた場合

＜公民科＞

6 一定期間内であれば契約を解除できる制度があります。

本来の意味は「頭を冷やして考え直す」というのですが、その制度というのが…

- ① スクーリング=オン      ② クーリング=オフ      ③ クリーニング=アウト

なお、ネットショッピングやカタログ通販の場合、この制度は適用[ される・されない ](どちらかに○)!  
たとえば、「クラT」をカタログ販売で注文したところ、予想していた生地とは違う品物が届いてしまった場合、別途料金を支払わずに作り直させることは[ できる・できない ](どちらかに○)!

＜家庭科＞

◇事例研究(グループディスカッション&ロールプレイ)(約20分)

⇒ 成人まで間もない君たち若者を、「自分たちさえもうかれば、ほかの人間はどうでもいい」と考える「悪質業者」たちが、テグスネを引いて待ち構えている。恐ろしい闇の社会が現実にある!



\*「ワークシート」裏面に記載されている2つの「悪質商法」の事例について、グループごとに「対処法」を考えよう。

(別紙「狙われる若者」の中から事例1と事例7を提示、4人ほどのグループで考えをまとめロールプレイを組み立てる。1つの事例につき10分×2セット=20分)

＜公民科、家庭科＞

◇教員ロールプレイ実演) (ロールプレイ評価・パンフ配布含めて約7分)

⇒ その後、パンフ「狙われる若者」コピーを配布

＜家庭科＞

不幸にして「トラブル」に巻き込まれた場合は…

⇒「消費生活センター」への相談、という方法アリ!

※消費者ホットライン:局番なし3ケタ電話番号[ ][ ][ ]

覚え方～「泣き寝入りは、イヤヤ」



＜公民科＞

◇「消費者主権」という考えについて(約6分)

(米)ケネディ大統領が提起した「消費者の4つの権利」とは…

- ①[ ]を求める権利
- ②必要な事実を[ ]権利
- ③[ ]できる権利
- ④[ ]を聞いてもらう権利



\* のちに、「消費者教育を受ける権利」が追加!

⇒「消費者」として生産と販売のありかたを決定できること、すなわち「消費者が主役となる社会」であることが大切!

# 「かしこい消費者になるために」リフレクションシート

1 授業に参加する前と後で「かしこい消費者」に対する考えを比較しましょう。

<授業に参加する前>	➔	<授業に参加した後>

2 授業で学んだ内容をこれからの日常生活のどのような場面で生かしますか？次から一つ選び、考えを記入してください。(一つ選択して○をつける)

家庭科以外の授業 ・ 課外活動 ・ 家庭生活 ・ 社会人になった時

あなたの考え

3 次の項目について、当てはまるものを一つ選びましょう。

①かしこい消費者になることの意義について

よく理解できた ・ 理解できた ・ あまり理解できなかった ・ 理解できなかった

②消費者として生活の質を向上するためにどうすれば良いか、また消費者問題の被害の防止や救済について、具体気な事例と対処方法を知ることが

よくできた ・ できた ・ あまりできなかった ・ できなかった

③消費者の権利や消費者支援の制度に関心を持ち、自立した消費者として行動することに

とても自信がある ・ 自信がある ・ あまり自信がない ・ 自信がない

4 授業で印象に残ったこと、気になったことなど、感想を記入しましょう。


( )年( )組 ( )番 氏名( )